



人間は幸せに生きられるようにできている

日刊サン 独占インタビュー

心身統一法を創案し、広めた中村天風の教えを実践しておられる天風会のみなさんが、ホノルルで4度目の修練会を開催します。それに先立ち、3度目の修練会の講師を務められた南方哲也さんと村里泰由さんに、天風会との出会い、それぞれの体験、天風哲学への想いについてお話を伺いました。

聞き手：下吉陽子

公益財団法人天風会 評議員/教務主任

南方 哲也さん

保険代理業からリスクマネジメントの専門家に

リスクマネジメントを教えておられたそうですが？

私は保険の代理業をしていましたので、皆さんから色々と相談されることが多くなり、経営コンサルト、それに関連した仕事も始めました。保険をやっているとなんか相談を受けるのですが、人生いろんなリスクがつきものですから、結局は色んなリスクの相談を受けるわけです。そこで、リスクマネジメントに興味を持ち始めました。

その頃日本では、あまりリスクマネジメントを研究している人はいなかったのですが、大学の先生と一緒にリスクマネジメント学会というのを作って、私は事務局長をしていました。それをやっている間に、58才の時に、大学で教えてみないかと誘われて、九州の長崎県立大学でリスクマネジメントの教授になったのです。

ハワイに来られるようになったのはどん

なきっかけですか。

変な話ですが、教授に来てくれと招かれて行ってみたら助教授だったんです。どうしてですかと聞いてみると、とにかく助教授から始めてもらいたい。もちろん教授の資格は十分あるのですが、民間から入っているの、論文5本と本を1冊書いてほしいと言われてたのです。本はこれまでも10冊くらい書いていますと言ったのですが、ノウハウものではなく、学術書を書いてほしいと。大学は夏休みと冬休みは自宅研修だったので、家ではできない。たまたまコナに長男が住んでいましたから、そこで毎年夏休みと冬休みは妻とハワイに来て、本を書くことにしたのです。それでも、21日目になります。

長男は、今は日本に帰って保険の仕事をしていますが、面白いことに、長男の子どもが、今ハワイにいて、ハワイ島のHPAという全寮制の高校に通っているんです。

* * * * *

死と向き合うなかでの天風会との出会い

天風会との出会いはいつですか。

天風会との出会いは、慶応大学で経済学を学んでいた20才の頃に遡ります。当時、学生としては、経済的には恵まれた生活をしていました。父からは毎月3万円送金して貰っていて、その後保険会社に就職した時の初任給が7800円くらいでしたから。

ところが、ちょっと幸せを感じなかったのです。「財を豊かにすることが人間を幸せにする」というのが経済学の原則ですが、そ

3日眠った後で目が覚めてしまいました。それで、別の物理的な方法で死ぬことも考えたのですが、すぐに死ぬ理由もないので、教会に行ったり、座禅を組んだりしていました。

そんな時に母から、「面白い話をする人がいるから聞きに行ってみたらどうか」と勧められたのが、中村天風先生との出会いでした。

中村天風とはどんな人でしょうか。

中村天風は、明治9年生まれで、満州で

人間は幸せに生きられるようにできている

天風先生の話聞かれて、どう感じられましたか。

天風先生の話聞いてすぐわかったのが、彼の考え方のもとですね。中村天風は「本来、人間は幸せに生きられるようにできている」と説きます。私はそれまで、消極的な考えにとらわれて、消極的な観念要素を自分の潜在意識に植え付けていたのです。だから、頭の中がマイナスになる。それを作り変えることによって人間は幸せになれる。

中村天風の教えでは、観念要素を積極的なものに変えれば、人間は幸せになれるのです。例えば、寝る前に鏡を見て、積極的な暗示を与え、朝起きるとその暗示を受け取る。このような自己暗示法を用いることで、「観念要素の更改」が可能になるのです。体力、胆力、精力、能力、判断力、断行力という6つの力を受け入れることも必要です。それを豊富に受け入れるには、積極的な観念を持つこと、潜在意識の積極化によってそれが可能になる。そういう教えだったのです。「これは面白い」と思って、自分で実践してみたら、どんどん自分が変わって来たんです。そして「これは素晴らしい」と思うようになり、その時から既に50年以上実践しています。

どのように実践されたのですか。

天風の教えというのは、道場などに行つてやるのではなく、自分で毎日実践しなければならない。当時、中村天風は毎月講習会を開いて、そこで教義を説明しておら

れました。夏は修練会があって、そこで13日間、毎日朝8時から夕方5時まで勉強実修していました。天風教義というのは、非常に内容が深いのです。心の持ち方と使い方、身体の活かし方と使い方からなります。この4分野にわたって非常に詳細に指導して下さいました。ヨガが基本になっていますが、中村天風はヨガで実践して来られたことを、日本に帰ってから、日本人が毎日仕事をしながら実践できるように仕組まれたのです。物の考え方、言葉の使い方、心の使い方、呼吸の仕方、体の鍛え方などで、色んな方法が組み込まれていて、それを実践しながら日常生活を送っていると、ほかの人達とどんどん差が着いてきます。

6つの謀力が増加してくるのです。つまり、体力、胆力、判断力、断行力、精力、能力がレベルアップしてきて、色んなことができるようになりました。

具体的にはどんな変化でしょう。

周りの人からは、いつもスーパーマンと言われていましたね。例えば、仕事はどんどん進みます。仕事をしながら勉強するのでもどんどんできます。26才の時に自分でビジネスを始めたのが、30才ごろから3時間睡眠で、58才まで会社を3つほどやっていました。そして、夜は勉強していたのです。健康法だけ教えているところとか、心ばかりやっているところはありますが、心も身体も両方を鍛えないといけないのです。



人間は宇宙霊の一部である

天風哲学とは何でしょう。

世間の人々は、人間は身体であると考え、死んで身体がなくなれば、すべてがお終いだと考えます。

天風哲学は、人間というのは靈魂だから、靈魂がこの世で生きるために心と身体を使っていると考えます。靈魂は不滅ですから、滅びることがないのです。靈魂は神の一部です。

天風会では神のことを宇宙霊とっていますが、神が宇宙を進化向上させるために人間の靈魂にそれを行わせているのです。いつも進化し向上しようと努力を続けていけば、神の意向にあっているわけですから、そういう人間が幸せに生きられるようにつくられている。消極観念とか、逆のことをやっている人達は、神から抹消されていくという哲学が根本にあるんです。この神、すなわち宇宙霊は、造物主といわれ、宇宙をつくったものなのです。人が死んだときは、靈魂はもともと宇宙霊一部ですから、滅びることはありません。

とても宗教的に響きますが。

天風の教義は実践哲学であって、この世の生き方を科学的に説く教義なのです。でも、宗教ではないのです。

宗教になるとあまりよくないのです。日本の宗教の多くは金儲けです。西洋の宗教の多くは支配欲です。だから、天風会は宗教法人ではなく、財団法人にしてある。宗教よりも深いものをもっています。そのために金をとったり、お祈りしなさいということは一切ないのです。自分で無我の境地になるこ

とによって宇宙霊、神と一体化するのです。

どういう意味でしょう？

真善美すなわち、愛と誠と調和の心をもって生活することです。そして、いつも感謝と歓喜の気持で生きます。こういう状態になった時は、人は神と一体化しています。

ところがお金が欲しい、おいしいものを食べたい、いい女性、あるいはいい男性と付き合いたい、お酒を飲みたいなどという欲望を持っているとき、もっと悪いのは消極的な考え方、怒りとか、恐れ、哀しみ、嫉妬、復讐心とか、そういう心を持っているときは神から離れているのですから、宇宙霊の力は入って来ない。だから病気になったり、運命が悪くなるのです。そういうふうには物質界は作られているんですね。

それを知らないものだから、みんな悩み、苦しみ、自分で不幸を招いている。病気になるもとは消極的な考えですね。病気になると心配するけれど、心配するというのは消極的な考え方だから、さらに悪くしている。だから病気になった時は、神は自分の生き方が間違っているという警告を下されたのだと思って感謝しないといけない。

そして、どこが間違っていたかなと思って謙虚に修正すればいいのです。運命でもそうです。悪いことがあったら、会社が倒産したら、これは自分が経営を間違えたという警告だととらえて、有り難いと思わないといけない。そこから立ち直るんですよ。そこで「どうして神はこんなことをするんだ」と恨み出したら、終わりですよ。

* * * * *

ハワイの人に元気で幸せになる方法を学んでほしい

ハワイ島での活動はどうされているのですか。

ハワイ島では、毎朝、天風体操をしています。別に普及活動をしていわけではないのですが、毎朝、家で体操をしていたら、自

たいと考えていたのです。昨年9月に第1回の行修会を開催し、継続的にやってほしいとの声を頂いたので、今年も既に2回開催し、この次が4回目になります。

行修会では、すべての人が幸せになるた